

プロジェクト リース

項目 本日の検討事項

**本日の検討事項**

1. 2016 年 8 月に公表した中期運営方針では、我が国の会計基準を国際的に整合性のあるものとするための取組みの一環としてリース会計を掲げており、これを踏まえて、第 375 回企業会計基準委員会（2017 年 12 月 20 日開催）において我が国におけるリースに関する会計基準の開発に着手するか否かについて検討することが承認され、第 387 回企業会計委員会（2018 年 6 月 21 日開催）及び第 78 回リース会計専門委員会（2018 年 6 月 8 日開催）より検討を開始している。
2. 第 387 回企業会計委員会及び第 78 回専門委員会では、リースに関する会計基準の開発に着手するか否かを判断するにあたり、「我が国における会計基準の開発に関する予備的分析」（以下「予備的分析」という。）について検討を行った。
3. その後、前回の第 388 回企業会計委員会（2018 年 7 月 6 日開催）及び第 79 回リース専門委員会（2018 年 6 月 26 日開催）から、予備的分析に記載された事項についてより理解を深めるために、以下の検討を行っている。
  - IFRS 第 16 号「リース」及び Topic 842 の基本モデルの確認
  - 損益計算書に与える影響の分析
  - 基準適用に係る財務諸表作成者のコスト
4. 本日は、予備的分析に記載された事項について、以下の点について、より理解を深める。
  - すべてのリースに係る資産及び負債の認識（審議事項(5)-2）
  - リースの識別及びリースとサービスの区分（審議事項(5)-3）
  - 重要性に関する事項（審議事項(5)-4）
5. また、第 388 回企業会計委員会及び第 79 回リース専門委員会で検討した事項についてフォローアップを行う（審議事項(5)-5）。
6. なお、第 388 回企業会計委員会で聞かれた意見については、審議事項(5)-6 に記載している。

以 上